

町内65自治会から 義援金集まる



築上町自治会長会は、東日本大震災の被災地支援に役立ててほしいと町内65自治会（西高塚自治会は独自に取り組み、30万円（寄附）で募った義援金138万7,512円を町に寄託しました。5月2日、吉元自治会長、副会長、副島副会長、原田副会長が役場を訪れ、各自治会から集まった義援金を町長に手渡しました。義援金は、3月下旬から4月下旬に役員らが町内の7,000世帯余りに協力を呼びかけました。吉元会長は、「何とか被災地の方の力になりたいという思いが皆さんの中にあつたのだと思います。予想以上に集まりました」と話しました。



町長室だより

築上町長 新川 久三

心地よい時季から段々暑気を感じる季節となりました。すでに田植えも進んでいる地域も見られ、農繁期の最盛期となっております。

東日本大震災から3カ月を過ぎようとしています。想像を超える大惨事ですので復興に月日を要すると思います。

しかし、日に日に瓦礫の片付けも進んで更地がテレビで確認できるようになりました。

築上町の義援金は千七百万円を超えました。浄財を寄せていただいた皆様に紙面を通して御礼申し上げます。また、義援金のほか人的支援として航空自衛隊築城基地の隊員の皆様も災害対策派遣業務を献身的に行っているとの話しを聞き及んでいます。

さて、築上町の役場職員の

災害救援派遣は4月23日を皮切りに建設課の出口厚志君（自治労派遣）が石巻市へ、

5月3日出発の福祉課の野村仁資君、5月15日出発の環境課の進信博君、5月21日出発の総務課の桑野智君の3名を東松島市へ派遣したところで

事務の内容は避難所の運営事務、災害派遣の自衛隊が捜索した遺留品の仕分け、身内への引渡し等を行ったとの報告を受けています。

今後も福岡県との協議で派遣を決定しますが、県から要請があれば追加の職員を派遣できるように本町では準備を行っています。

次に、大相撲についてです。大相撲は賭博と八百長で信用を落していました。五月

場所は技量審査場所として開催され、下岩丸出身の松谷さん（松谷裕也さん）は幕下で2場所連続全勝優勝しました。来場所は晴れて十両の上位に番付されることは確定しています。

越路出身の琴禮さん（椎葉巨樹さん）は、幕下西24枚目で6勝1敗の成績でした。5月末日に行われる番付編成会議で名古屋場所の番付が発表されます。この広報を町民の皆様がご覧になる頃は幕下上位に昇進していることでしょう。

二人の力士を郷土から一生懸命応援しましょう。ご両人にも郷土の期待にこたえるために精進なさるように激励いたします。

最後に、5月23日に築城基地協賛会の役員会があり、平成23年度・24年度の会長を私が引き受けるようになりました。基地協賛会は基地業務に

必要な協力を行うと共に関係地域社会の民生安定と発展を図るために組織され、昭和53年4月に発足しました。以来、

基地と周辺自治体は防衛思想の普及や基地行事に物心両面において協力しています。この基地協賛会は唯一築城基地のみで組織されており、防衛省の皆様から評価を受けています。協賛会の活動で築城基地周辺の自治体は種々の要望や提案を行いやすくなっています。

もうすぐ入梅となり、豪雨の季節となります。災害には万全な対応を行ってまいります。また、町民の皆様は、危険を感じたら早急に避難の態勢に入ってください。これから向夏の季節となりますので町民の皆様にはお元気で夏場を過ごされることをご祈念申し上げます。

平成23年6月